

編集 後記

2020年の師走を迎えるにあたり、1年前とは世界の価値観が大きく変わったことを改めて思い起こしております。今年の流行語大賞として選ばれた「三密」という言葉は、1年前には存在していませんでした。感染拡大を防ぎ、人々の心身の健康を守り、社会活動を継続するために、皆様それぞれの立場で奮闘の日々を過ごしていただけることと存じます。

本誌にはWHO健康開発総合研究センターの研究に関する特別論文が掲載されています。COVID-19に関するWHOからの情報の発信など、昨今の情勢下で大きな役割を担っているセンターの機能について、わかりやすくまとめられています。

原著論文としては、中小企業雇用者におけるワーク・ファミリー・コンフリクトを取り上げた論文、豪雪地帯農村部の高齢者の生活支援の担い手となる意向に関する論文、地域住民のヘルスリテラシーと慢性疾患との関連に関する論文が掲載されています。COVID-19の影響を受けて、中小企業における雇用の維持が大きな課題となり、また高齢者どうしの交流にも影響が出ています。またCOVID-19に関連する様々な情報が絶え間なく発信されている中、ヘルスリテラシーは重要なテーマであるといえます。いずれのテーマに関しても、状況の変化に応じて更に研究が蓄積されていくことが期待されます。

このほか、女性の就業状況別の婚姻・出生率に関する資料、ロールプレイを活用した研修に関する公衆衛生活動報告も掲載されています。

日本公衆衛生雑誌では、今後も人々の健康に資する研究や報告・資料を広く掲載し、公衆衛生活動の推進に寄与していきたいと存じますので、引き続き、幅広い分野からの投稿をお待ちしております。末筆ながら、読者の皆様が健康に新しい年を迎えられること、そして事態が少しずつでも改善に向かうことを心から祈念しております。

(永田智子)

次号予告 (第68巻・第1号)

原著

病床機能報告制度を用いた日常生活動作とリハビリテーション提供時間の関係……小田太史, 他
 幼児期の甘い間食の習慣的な摂取と生活習慣に関する乳幼児健康診査を活用した分析

……佐々木溪円, 他
 地域高齢者におけるロコモティブシンドロームと認知機能低下の関連……藤田和樹, 他

資料

平成28年歯科疾患実態調査の協力状況と生活習慣との関連: 国民健康・栄養調査とのレコードリネージによる検討……安藤雄一, 他